

(1) 斑点落葉病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年並でした（図 1）。

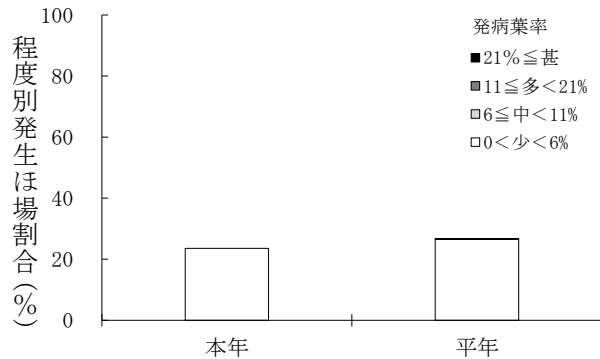


図 1 斑点落葉病の発生状況

(2) 褐斑病

新梢葉での発生は確認されず、発生ほ場割合は平年並でした（図 2）。

梅雨時期で降雨日が多くなるため、散布間隔をあげずに薬剤散布を実施しましょう。

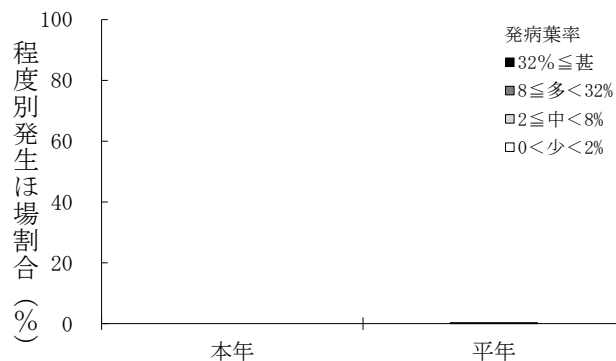


図 2 褐斑病の発生状況

(3) 黒星病

新梢葉での発生ほ場割合は、中通りでは平年並、会津では平年よりやや高い状況でした（図 3）。また、会津では果実での発生も見られました。

発病部位は見つけしだい除去し、園外に持ち出すなど適切に処分しましょう。薬剤散布は散布ムラがないように丁寧に実施しましょう。

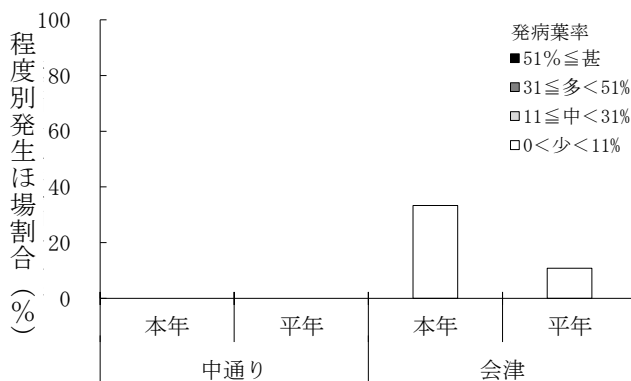


図 3 黒星病の発生状況（新梢葉）

(4) キンモンホソガ

新梢葉被害の発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。

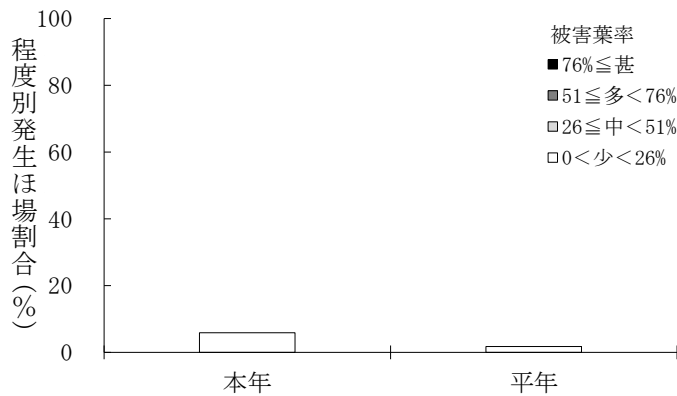


図4 キンモンホソガの被害発生状況

(5) アブラムシ類

新梢寄生の発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。

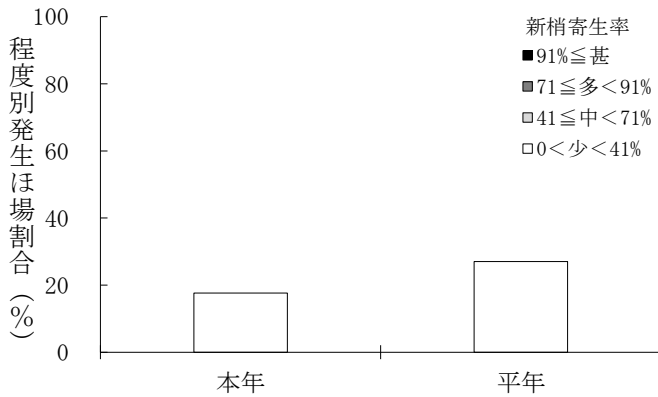


図5 アブラムシ類の新梢寄生状況

(6) ハダニ類

新梢寄生の発生ほ場割合は、平年並でした（図6）。

要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達した場合は、薬剤散布を実施しましょう。

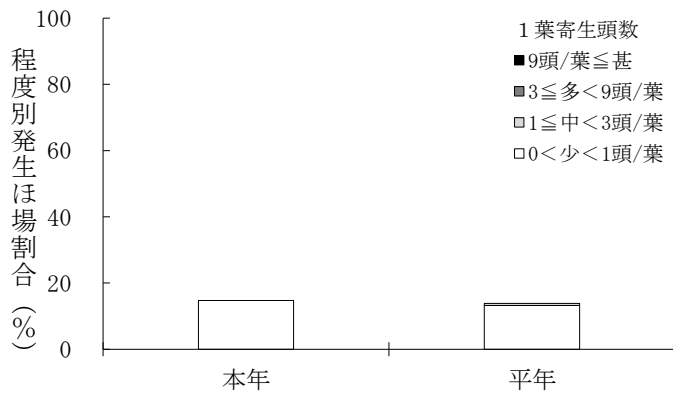


図6 ハダニ類の新梢葉寄生状況